

# 第8回 福大韓国学シリーズ（国際シンポジウム）

オフライン（福岡大学）＋オンライン（座談会のみ、Zoom）開催

10：00 趣旨説明：柳忠熙（リュウ・チュンヒ、総合司会、福岡大学・准教授、東アジアの比較文学・思想史）

10：05 田中美彩都（学習院大学・助教、朝鮮近代史・家族史）

近代朝鮮の慣習調査資料をめぐる研究状況と課題

10：25 田中美佳（九州大学・助教、朝鮮近代史）

1920年代の朝鮮における民間読本：『中等朝鮮語作文』を中心に

10：45 潘在泳（バン・ジェヨン、韓国・高麗大学・博士課程、韓国戦後文学・思想史）

「単政樹立以降の転向研究」の遺産を如何に生かすか

ポスト転向時代としての戦後という視座の可能性

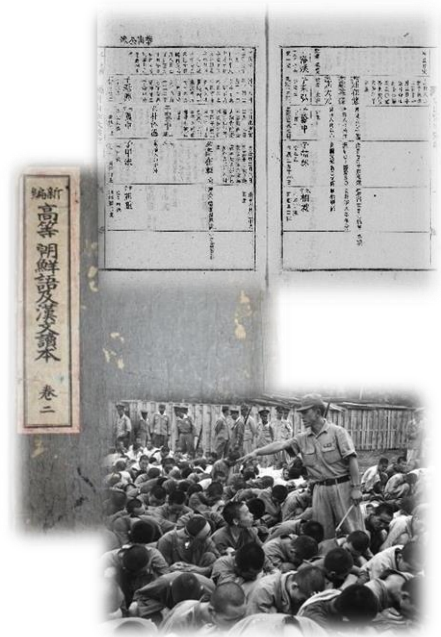
11：05 質疑応答（コメンテーター）

波田野節子（新潟県立大学・名誉教授、朝鮮近現代文学）

黄鎬徳（ファン・ホドク、韓国・成均館大学・教授、韓国近現代文学）

李泰勳（リ・テフン、九州産業大学・准教授、中世の日朝関係史）

12：00 昼休み



## 私にとっての韓国・朝鮮の文学と文化

波田野節子（新潟県立大学・名誉教授、朝鮮近現代文学）

「抱負」

白川豊（九州産業大学・名誉教授、韓国・朝鮮近現代文学）

「私と韓国・朝鮮の語文学」

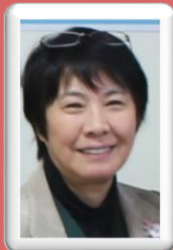
コメンテーター：

渡辺直紀（武蔵大学・教授、韓国文学）

黄鎬徳（ファン・ホドク、韓国・成均館大学・教授、韓国近現代文学）

李泰勳（リ・テフン、九州産業大学・准教授、中世の日朝関係史）

座談会時間：13：00～15：00



15：00 座談会後の休憩

15：30 金宗喜（キム・ジョンヒ、韓国・成均館大学・博士課程、韓国語学・文法論）

新語に見られる意味の強調戦略

15：50 金聖来（キム・ソンレ、韓国・成均館大学・博士課程、アジア映画史・文化研究）

映画＜福岡＞と＜柳川＞の空間・言語・身体

16：10 林泰勳（イム・テフン、韓国・成均館大学・助教、韓国現代文学・文化論）

地政学としてのSF：極東アジアの未来を想像する小説の系譜

16：30 質疑応答（コメンテーター）

白川豊（九州産業大学・名誉教授、韓国・朝鮮近現代文学）

渡辺直紀（武蔵大学・教授、韓国文学）

金牡蘭（キム・モラン、早稲田大学・非常勤講師・韓国学研究所招聘研究員、比較文学・近代演劇）

・日時：2023年2月16日（木）10：00～17：30

・場所：福岡大学 A棟 A202教室 + Zoom（座談会のみ）・使用言語：日本語・韓国語

◆主催：科研費「植民地期朝鮮における思想史研究の基礎構築（1）：民族改良・実力養成・自治論」（若手研究、18K12214）

◆共催：科研費「冷戦文化形成期（1945-1970）韓国文学・文化史の再認識」（基盤研究B、20H01252）

科研費「貫戦期における日中映画の越境と協働をめぐる総合的研究」（基盤研究B、20H01222）

福岡大学 人文学部 東アジア地域言語学科

◆お問い合わせ先：ryuch@fukuoka-u.ac.jp（東アジア地域言語学科・柳忠熙）

座談会のみ、オンライン参加も可能です。オンラインでのご参加を希望される方は、以下のURLか右のQRコードを通じて事前申請をお願いいたします。後日アクセス情報をお送りいたします。

申請締切：2023年2月14日（火）まで <https://forms.gle/g1EPKdfigaTUbVzdb9>

